

# 第11回 杉浦賞（杉浦地域医療振興賞）

## 〔趣旨〕

地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人の取り組みについて、その主体者である団体・個人を対象に表彰します。

地域医療に貢献をした人々の活動に光を当てることで、全国に活動の機運が広がること、また奨励、促進する環境を醸成することを目的とします。

## 〔選考基準〕

世の中全体が激動期にあるので、この褒賞の内容が羅針盤の役割を果たせるものであることが望ましい。その観点から以下の4点を選考の基準とします。

- 地域から全国への展開ができる内容であること。
- 長年にわたり地域のために貢献していること、あるいは、今後も継続性のある活動であること（論文の数などではない）。
- イノベティブなもの（地域医療の新しい仕組みづくりの提案）であり、今後広く公表する必要があること。

- 過去にも相応の実績を有すること。

## 〔選考対象〕

研究者、専門職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護福祉士等）、その他（自治体、NPO、ボランティア等）の方で、全国に波及する可能性を有する活動を行っている団体・個人。

但し、その活動が現在も継続しているものに限り、ます。

## 〔審査委員〕

審査委員長

大島 伸一

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長  
日本福祉大学 常務理事

秋山 弘子

東京大学 名誉教授  
東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授

柴田 博

桜美林大学 名誉教授  
一般社団法人日本応用老年学会 会長

辻 哲夫

東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン  
研究センター 客員研究員

久常 節子

元 公益社団法人日本看護協会 会長

※委員長を除いて五十音順／2022年6月現在

## 第11回 杉浦賞 受賞者

6

団地を一つの大きな家族に

株式会社ぐるんとびー 特定非営利活動法人ぐるんとびー

株式会社ぐるんとびー 代表取締役 菅原 健介

10

東日本大震災後の心のケア

～地域で取り組む多職種チームのキセキ～

特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨

14

在宅で生活する医療的ケア児と

その家族を支える多職種ネットワーク連携活動

e-ケアネットよっかいち 代表 宮崎 つた子